第 2 章 独占企業の投資行動(Text 第 7 章)

第 2 章の課題：独占価格の設定・独占利潤の獲得のための独占企業の投資行動の考察

設備投資決定の重要性

① 設備投資と利潤の長期最大化

生産能力の過剰化→利潤率_____or 価格協調の_____

長期利潤最大化価格の維持＝長期・安定的な_____の獲得

⇒設備投資に関する適切な判断と決定の必要性

② 設備投資と需給関係

生産設備１セットが巨大で分割_____

＝当該部門の生産能力に占める割合が_____

⇒設備増設の需給関係への影響の予測が_____

⇒予想限界利潤率の予想・推計が_____

予想限界利潤率：生産設備１セットの増設によって長期的に実現できると期待される利潤率

③ 独占企業の設備投資決定の基本的特徴

設備投資が_____と_____に与える影響を考慮して

予想限界利潤率を慎重に予測・検討

⇒独占利潤の長期・安定的獲得のために

設備投資の是非について有効な判断・決定を行なう

第１節：新生産方法が存在しない場合の設備投資行動

第２節：新生産方法が存在する場合の設備投資行動

第1節 新生産方法が存在しない場合の独占企業の設備投資行動

Ⅰ 参入の可能性がない場合

(1) 予想限界利潤率の推計

① 設備増設後の予想価格水準

設備増設による

(a)　部門全体の生産能力の_____

(b)　需要規模との関係＝増設部分の_____の推計

(c) _____水準の変化

(d) ライバル企業との_____関係の予測

②　既存部分の利潤減少の可能性

設備増設によって価格が低下する場合

増設設備の予想限界利潤率だけでなく，既存設備部分の利潤_____の推計が必要

(2) 慎重な設備投資行動

①　競争的市場における過剰生産能力の発生とその結果

(a) 設備投資競争による過剰生産能力の発生

⇒生産_____・価格_____

(b) 生産力優位企業の対応

固定資本の_____回収のため設備のフル稼働・安売りによる販売量確保

→いっそうの生産_____・価格_____

(c) 生産力劣位企業

価格低下が固定資本の_____の可能な水準以下になると

→劣弱企業の生産停止・倒産

⇒過剰生産能力の_____＝需給の「暴力的調整」

②　独占的市場における過剰生産能力の発生の可能性とその影響

(a) 生産設備１セットの増設＝生産能力の_____の増大⇒過剰生産能力の発生

(b) 増設企業が価格切下げによる販路拡大を意図

→他の企業も_____によって供給増大

⇒価格協調の破壊＝価格_____競争の現実化

最劣等の企業でも巨大独占企業＝強い_____

＝価格切下げによるシェア拡大は_____

⇒長期にわたる大幅な利潤率低下の可能性

(c) 価格切下げ競争の回避

過剰生産能力を発生させた企業が低稼動率・低利潤率を長期にわたって負担

(d) 過剰生産能力発生への警戒

過剰生産能力を発生させた場合

価格＿＿＿＿競争の現実化⇒利潤率の大幅な低下

増設企業の低利潤率・低稼働率の負担

いずれも利潤の＿＿＿最大化目標に反する

⇒設備拡張投資に対する＿＿＿＿行動

(3) 余裕能力の役割

① 参入障壁の有力な形成要因

参入の危険性が生じた場合の対抗手段＝余裕能力の活用による

→価格低下＝参入期待利潤率の＿＿＿

② 需要の一時的・小幅な増大への対応

(a) 設備投資⇒生産能力の＿＿＿＿の増大

(b) 設備増設：長期の＿＿＿期間が必要

(c) 生産能力のフル稼働による供給

需要の小幅の増大への即時対応が困難

⇒＿＿＿＿を保有する他企業が需要増加分を獲得

＊余裕能力の保有⇒部門内＿＿＿の維持・拡大が可能

③ 非価格競争への対応

非価格競争で決定的な成功を収めた場合

⇒余裕能力によってただちに＿＿＿＿＿を実現

＊予想限界利潤率の推計においては，上記の①～③の機能を果たせるだけの

＿＿＿＿＿の保有を前提として計算

(4) 投資基準利潤率

設備投資が実行される予想限界利潤率の下限＝投資基準利潤率*はどのような水準か？

＊投資基準利潤率；設備拡張投資が実行されるか否かの基準となる利潤率。他の部門への参入が実行される参入期待利潤率の下限でもある。

① 現行利潤率の平均よりも_____

生産設備１セットが巨大化⇒設備増設⇒稼働率_____

＝現行利潤率よりも利潤率_____は必然

② 非独占部門の利潤率の平均水準より_____

(a) 非独占部門の低水準の利潤率は_____

独占部門に参入できない多数の資本による激しい_____

i) 独占部門による非独占部門の収奪：独占価格による_____交換

ii) 最低必要資本量も小さい：必要な場合にはいつでも_____が容易

iii) 参入が実行されるとしたら？

{ 生産条件が圧倒的に有利
　独占資本の活動部門との強い関連

⇒独占的_____によって独占利潤の獲得が可能な場合のみ

自部門に追加投資するか他部門に参入するかは_____

⇒自部門での設備増設を実行する利潤率水準＝非独占部門の現行利潤率よりかなり高水準

(b) 資本の長期固定化

非独占部門への参入→資本の長期固定化

{ 他の独占企業との競争への対応
　有利な投資機会が出現した場合への対応

低利潤率でこうしたリスクを負うよりも

資本を流動的形態で保持して_____市場などで運用

⇒利子・_____の獲得をめざす方が合理的

③ 投資基準利潤率の水準とその変化

(a) 投資基準利潤率の水準は①と②の間

下記の条件によって変化し，その水準は厳密に確定できない

（α）有利な＿＿＿＿＿の見通し*とその際の期待利潤率の高さ

*新生産部門の開拓や対外膨張の可能性

（β）独占企業の保持する＿＿＿＿＿の量

(b) 投資基準利潤率水準の変化

(α)が大きく(β)が小さい場合⇒投資基準利潤率＿＿

(α)が小さく(β)が大きい場合⇒投資基準利潤率＿＿

後者の場合

低利潤率の部門に参入・投資？

新生産物の開発や輸出の追及

→資本を＿＿＿的形態で保持し運用

⇒独占段階における金融・＿＿＿＿取引の活発化

Ⅱ 参入の可能性がある場合

課題：潜在的参入企業の参入の決定と既存独占企業の対応

(1) 参入期待利潤率*の推測

＊参入期待利潤率；潜在的参入企業が，ある部門に参入するか否かを判断する際に基準とする利潤率で，参入した場合に長期的に実現できると予想される利潤率

① 潜在的参入企業が考慮すべき要因

(a) 当該部門の客観的事実の推測

1. 産業需要曲線の形・位置・変化の趨勢

2. 生産総額

3. ＿＿＿＿＿と意図されざる過剰生産能力

4. 参入による総生産能力の増加

１と２：参入による価格水準の変化の予測・＿＿＿の推計のための基礎的で不可欠な要因

3 と 4：参入後の稼働率水準の推測と参入障壁____と____の高さの判断のための基礎的事実

5. 既存企業との技術水準・原料等の購入条件・販売コストの格差等

参入障壁____と____の高さの判断，参入後の既存企業との競争条件の評価

⇒長期的に実現が期待できる利潤率の推測のために不可欠な要因

＊1～5 は独占的市場構造のもとではかなりの正確さで推測可能

(b) 既存企業の行動の予測

参入に対して既存企業がとりうる対抗的行動

＝_____と____の参入障壁の高さの予測

＊_____要素をかなり含む予測

② 参入期待利潤率と参入の決定

潜在的参入企業：参入期待利潤率を慎重に推測

⇒ 一定水準を_____と予想される場合 ⇒ 参入を実行

(a) 一定の水準とは？

1. 参入の際には巨額の資本を投資

2. 投資した資本は長期_____

3. 資本の目的は？

特定の生産物の生産・社会的使命・・・

利潤の追求

⇒どの部門に投資するかは_____

＊一定の水準＝投資基準利潤率と_____

(b) 自部門への投資の方が他部門への参入より容易？

予想限界利潤率は自部門への投資の_____

参入期待利潤率は他部門への参入の_____

それぞれを織り込んで推計された予想利潤率

以上から

現行利潤率の平均水準____投資基準利潤率

____投資実行の予想限界利潤率の下限

____参入実行の参入期待利潤率の下限

____非独占部門の利潤率の平均水準

(2) 既存企業にとっての参入の危険性

既存企業にとって参入の危険性が生じるのは

潜在的参入企業の参入期待利潤率____投資基準利潤率____既存企業の予想限界利潤率

となった場合

ある部門で生産設備１セットが増設される場合

既存企業による追加_____よりも参入企業による_____が有利になるのは

どのような場合か？

① 既存設備部分の利潤率の低下の有無

(a) 既存企業の生産設備増設

→生産能力の増加→価格_____or 既存設備の稼動率_____

→既存生産設備部分の利潤率_____

(b) 参入企業は既存設備を持たない

⇒既存設備の利潤減少を考慮する必要_____

＝参入企業の有利性

(c) 参入期待利潤率＞投資基準利潤率

＝_____が小さくなっている状態

＝投資基準利潤率＞予想限界利潤率の差は_____

この状態では参入企業の有利性は絶対_____

② 参入障壁の(A)･(C_A)要因の問題

生産設備が追加されるような状態

＝需要規模に対する余裕能力の比率は_____

⇒(A)･(C_A)要因の参入障壁は＿＿＿＿または＿＿＿＿

③ 参入障壁の(B)･(C_B)要因の問題

(a) 一般的には既存企業の方が優位

①の参入企業の有利性を相殺できる場合

予想限界利潤率＿＿参入期待利潤率

(b) 参入企業がコスト面で優位の場合

⇒(B)･(C_B)要因の参入障壁＿＿0

①・②＋参入企業のコスト面での優位性

⇒予想限界利潤率＿＿参入期待利潤率

(3) 参入に対する既存企業の対応

参入による利潤の減少と参入阻止のための自らの設備増設による利潤減少との比較衡量

① 設備増設による参入阻止が合理的な場合

自分が設備拡張投資を行なった場合の予想利潤率の推計

α　既存設備部分の予想利潤率

β　増設設備部分の予想利潤率

α：自らの設備増設または参入実行，いずれにせよ＿＿＿＿(考慮の必要なし)

β：投資基準利潤率に近い水準で

かつ参入による既存設備部分の利潤減少＿＿自分の設備拡張による利潤減少の場合

⇒生産設備の増設を実行

⇒参入期待利潤率の＿＿＿＿⇒参入＿＿＿＿

② 参入企業の有利性が大きい場合

参入企業が既存設備をもたない有利性＿＿コスト面での優位性

これらを武器に攻撃的政策をとる場合

(a) 参入期待利潤率と既存企業の予想限界利潤率に＿＿＿＿

参入阻止のための設備拡張⇒＿＿＿＿設備の利潤減少＋増設部分の利潤の大幅な低下

(b) 参入阻止のための設備拡張の強行

既存企業の１つが設備拡張を強行→参入阻止に成功

しかし・・・

1. 潜在的参入企業のコスト面での有利性の持続

需要の趨勢的拡大のもとでは_____の危険性が再現する可能性大

2. 既存のライバル企業との競争関係

参入阻止のための設備増設

⇨ { 資本の長期_____
　　低稼働率・低利潤率

その後に新生産方法が出現した場合，ライバル企業の設備改良投資に遅れをとる

⇒_____の低下

(c) 参入企業が優位性をもっている場合の既存企業の合理的行動

参入を阻止するための無理な設備拡張投資は

{ 低利潤率のもとで資本を長期_____
　　参入の危険性の再現
　　既存・参入を問わず競争力で不利

⇒参入を容認し参入企業と有利な条件で_____

(4) 複数独占企業における設備投資原則の貫徹

独占部門において以上の設備投資原則はどのように貫かれるか

① 設備投資における協調の困難性

(a) 一致した予測の困難性

設備の年齢・生産技術など各企業の条件は多様

⇒需要の趨勢的変化とそれに対応する設備投資のための予測を統一的に行なうのは_____

(b) 設備投資量の配分における協調

1. 全企業が設備投資可能な需要増大の場合

設備投資量の配分⇒設備投資後の各企業の_____に大きく影響

2．一部の企業のみ設備投資可能な場合

需要増大の規模：部門全体で１セットの設備増設が可能な程度

すべての企業が設備投資を実行⇒大規模な_____生産能力の発生

設備投資の特定企業への割り当て⇒各企業の_____に直接影響を与える

設備投資の決定：

各企業の生産能力に直接に影響⇒各企業の_____や_____に長期的に大きな影響

＊設備投資における協調は非常に_____

② 設備投資における事実上の協調的行動

(a) 予想限界利潤率の差

稼動率が相対的に高く余裕能力が少ない企業

⇒増設設備の稼働率は_____

＝予想限界利潤率は相対的に_____

稼動率の差の原因：

- 既存設備設置時点での需要_____と現実の差
- 販売促進活動による_____争いの予測と成果の差

(b) 予想限界利潤率の高低と設備投資行動

3．予想限界利潤率を高く推測する条件をもった企業

⇒設備拡張投資の_____実行

ただし，各企業の予測・判断と意思決定の違い

⇒稼動率の高低と設備投資実行の時期の_____

4．需要の趨勢的拡大の状況下での投資行動

需要増大の規模：部門全体で１セットの設備増設が可能な程度

どのような企業が設備投資を実行するか？

確実なのは

[A] すべての企業の予想限界利潤率の上昇

[B] ある企業が設備投資を実行

→その部門の生産能力総量の_____の増大→他の企業の予想限界利潤率の_____

[C] 他企業の設備投資強行

⇒大規模な_____生産能力の発生

他企業は一時的なシェア_____を容認し，全体として_____投資行動

＊設備投資における事実上の_____行動

(c) 参入の危険性のある場合

1. 設備投資の基準自体が変化

既存設備の利潤減少は考慮しない

→既存設備の稼動率の高低は強く影響しない

⇒参入の危険性による設備投資の_____作用

ただし，参入阻止のために設備投資の_____

⇒ 利潤率_____と資本の長期_____のリスク

＝参入の危険性による設備投資の促進作用の_____要因

2. 既存企業または参入企業による設備投資の実行

⇒すべての企業の予想限界利潤率は_____

＊設備投資における事実上の_____行動が成立